

第三

秘

目 用

總受電報

次長 宛

旭放送部六五號七月三十一日

我方軍之狀況

(1) 山部隊

(2) 官部隊ハ昨三十日夜安仁南一〇軒附近ニ進出シ依然當面ヲ敵ヲ

攻譯中

(3) (一) 蔚院ノ部隊ハ一部ヲ以テ石頭灘ニ安仁西南方四軒ノ西方高地

ヨリ官部隊ニ遠慮シ東南方ノ敵ヲ攻撃中

(4) 戰鬥司令部ハ山頂盤ノ安仁東南一〇軒ノ東側ニ在リ

(5) 砲部隊

(6) 海福部隊ハ昨三十日朝安仁南方平地ニ進出シ

(7) 伊藤部隊ノ一部ハ依然三連山東郷野西八軒ノ及陽名檢ノ西

八月廿一日 昭和一九、八、一

旭放送部 參謀長

三軒ノ附近ニテ交戦中ニシテ逐次敵ヲ撃滅シツツアリ
(8) 閉部隊ハ衡州西北方地區ニ進出爾後ノ攻撃準備中

ニ敵情

(1) 第一〇軍長及第三師長ハ現在衡州城ニアルコト確實ナリ、一部兵ヲ使用ス、包圍網ヲ滲入脱出セルモノアリ

(2) 第一五一師ノ一部ハ二十八日潭江市(東陽渡西西南八軒)ニ陣地ヲ構築シアリ

(3) 二十九日第二九軍ハ第一三四師ノ二個團ヲ含ム、及第四四軍ハ依然湖口壑及其ノ周邊地區ニ在リ

敵健部隊方面

羅漢寺(蓮花北二五軒)「稻樹下」(西西北二二軒)間ニ小集團ノ敵兵力 合計六〇〇、王村(白竺南二軒)附近ニ陣地ヲ占領セル

約三〇〇ノ敵ヲ目視ス
(5) 寧郷ヲ守備シタルハ第四三團(一脱、二不明)外其ノ北方七軒青華鎮附近ニ第七七團ノ第二三團アリタルモノヲ知シ

三 明日ノ天氣 長沙雨筈ノ風一、二米隨後薄曇

衡州 右ニ同シ

(終)



日誌

傍受電報

昭和一九、八、一
六時三十分 電報班受付

通電先 次長、次官
旭 部 隊 參 謀 長

旭放送第六四號 (追加)

我が軍ノ狀況

- (1) 鹿部隊
- (1) 來陽守備ノ大坪部隊ハ二十八日夕來執拗ニ攻撃ヲ反復シ來ル敵敗殘部隊 (計約七箇師) ニ對シ反擊ヲ準備中
- (2) 伊藤部隊ノ一部ハ「西サウ」 (東陽渡西八杆) 及「シンタイ」 (南二、五杆) 附近ノ敵第六二軍約一箇團ヲ殲滅殘敵掃蕩中
- (2) 岩部隊、飯島大隊ハ本三十日夜針部隊ノ指揮下ヲ脫シ「二唐」東北地區ニ集結同地附近ノ墨野部隊ト交代ス
- (3) 山部隊、宮部隊ハ昨二十九日午前一部ヲ以テ「蒲仙寨」ハ「界首

弊一南方一二杆)ヲ占領スル筈

(4) 廣部隊、野溝支隊ハ二十八日黎明「將軍廟」(杉橋東東北八杆)東方地區ヨリ南面シテ敵第七九軍主力ノ退路ヲ遮斷スル如ク攻撃ヲ開始「銅錢渡」東方臺上ニ向ヒ進撃中

ニ敵情

(1) 「車江市」(東陽渡西西南八杆)附近ニ二十八日輕機三ヲ有スル約一五〇ノ敵陣地ヲ占領シアルヲ目撃ス該敵ハ第一五一師ノ一部ナルモノノ如シ

(2) 鹿部隊、古賀、大坪部隊正面ニアル第二六軍及暫編第二軍並ニ第九二師暫編第五四師ハ二十八日夕以來執拗ニ攻撃ヲ反復中

(終)

電報用

電報 通電先次長支總(漢口南京) 旭部隊參謀長

七三三三三三
八三三三三三
和一九八一

旭參電第六三六號

軍ハ八月四日主カヲ以テ岳屏一帯高地ニ對シ攻撃

ヲ開始ス五日後有カナル兵團ヲ以テ衡陽城北ニ對

シ急襲攻撃シ一撃野島又ヲ攻略セントス

之ガ爲大要左ノ如ク部署セリ

一、軍部隊ハ八月三日及四日主トシテ堤部隊ニ八月

五日及六日主トシテ廣及野部隊ニ協力ス

二、堤部隊ヲシテ八月四日及七日攻勢ヲ開始シ主カ

ヲ以テ主屏有カナル一部隊ヲ以テ寺ノ高地ニ岳屏

東南四〇〇米ノ攻路ヲ引續キ鐵爐門碼頭方向ニ

戰果ヲ擴張セシム

三、岩部隊ヲシテ八月四日十七時攻勢ヲ開始シ主力

ヲ以テ岳屏西北高地ヲ攻略シ引續キ中國銀行(岳

屏北方六〇の米)方面ニ戰果ヲ擴張セシム

四、廣部隊ヲシテ最ニ企圖ヲ秘匿シツツ敵ニ近ク周到

ナル準備ヲ整ヘ八月五日主力ヲ以テ衡陽城ニ北

リ有力ナル一部ヲ以テ北側地區ヨリ攻撃ヲ開始シ

引續キ埠頭碼頭(鐵煙門碼頭北三エの米)方向ニ

攻撃前進セシム

五、鹿部隊ヲシテ湘江東岸地區ヨリ八月四日其ノ砲兵

及遊撃部隊ヲ以テ堤部隊ノ攻撃ニ協力スルト共ニ

五、川瀟湘碼頭(鐵煙門北約八〇の米)附近ニ對ス

ル砲撃ヲ開始ス

同日夜、朕ヲ指揮スル歩兵約ニ大隊ヲ該地附近
ニ強行渡河セシメ、廣部隊ノ攻撃ニ協力セシ

(手交)

490

2113

3113

167

極秘親展

2114

作戦要志

目録

報

通電先次長支總波

旭參電第六三五號

七月三十日朝迄ニ於ケル狀況

一 衡州方面

二 衡州攻略部隊

彼我共ニ一段ニ大ナル変化ナシ 岩部隊兒玉部

隊(旧稱和爾部隊)ハ昨二十九日朝敵陣地ノ一

部ニ對シ牽制攻撃ヲ實施セリ

三 武部隊

ハ昨夕來神山市(四塘桂北四料)ノ北方地區ノ敵ヲ

擊破シツツ銅錢渡ニ向ヒ前進中ニシテ本朝小柴

七三三一九
三五二七
五七六
八三三
四三三
四三三
提出

部隊ノ先頭ハ大橋鋪（神山市東北方四料）附近

ニ駐陣司令所ハ神山市ニ進出セリ

（四）古田部隊ハ白鷺鋪防衛ヲ撤シ二十九日夕探山嶺

ハ六塘衝西北方ニ料（附近）又元吉部隊（輜重）

ハ二塘柳三塘間ニ集結セリ

（三）廣部隊ハ清支隊ハ二十八日黎明ヨリ將暨店（杉

橋東々北八料）附近ヨリ南面シテ敵第七九軍主

力ノ退路遮斷スル如ク攻撃ヲ開始シ銅錢渡東方

臺上ニ向ヒ進軍中

（四）衡州ニ向ヒ前進中ノ山崎部隊ノ一部（十加三門

十五榴三門）ハ本三十日朝樟木子（衡州北々東

一二料）ニ進出セリ

二江西方面

同部隊岩切支隊ハ昨二十九日朝來陣地ヲ占領セ
ル寧卿ノ敵ハ第一五師ノ一部ヲ攻撃シ同日夕
之ヲ完全ニ占領セリ

(2) 廣部隊ニ配屬セル閑部隊ノ一部ハ歩兵ニ箇大隊
ハ本三十日朝易俗河ニ進出セリ

三江東方面

(1) 各部隊ノ狀況

(1) 極部隊ハ左右追撃隊ノ先頭ヲ以テ龍子頭(麻子
南一二料)及曹家垓(源頭西南八料)ノ線ニ
進出主力ヲ以テ昨二十九日源頭出發白竺(葦

郷南々西ニ口料)南方地區ニ向ヒ追撃中

(2) 山部隊 神部隊ハ來陽ニ向フ途中二十八日藍下
(界首坪東北六料)附近ニテ海福部隊ト協カシ

當面、敵左側背ヲ攻撃シ之ヲ西方ニ潰走セシム
宮部隊ハ一部ヲ以テ蕭仙寨（界首坪西一ニ料）

ヲ占領セリ

戰鬪司令所ハ昨二十九日夕（地名不明）（茶陵西南

一八料）ヲ出發來陽ニ向ヒ前進中

敵第三七軍軍部及第九五師ハ尚界首坪安仁間
ノ地區ニ在リ 又敗殘第二軍及第四四軍各主
カハ月嶺下（茶陵南一六料）東方及東南地區ニ
在リテ尚茶陵蒼崗ノ機ヲ窺ヒツツアルモノ如シ

蓮花ニ向フ追撃部隊ハ

極及健部隊ニ依リ大打撃ヲ蒙リ其ノ戦力半減セ
ル敵第五八軍主力が蓮花方向ニ敗走シツツアル
狀況ニ鑑ミ軍ハ追撃ヲ續行シ蓮花附近ニテ敵ヲ

捕捉殲滅スルト共ニ茶陵攸縣占領ノ山部隊ヲ推
 進スベク昨二十九日大要左ノ如ク部署セリ
 小極部隊ヲシテ有カナル一部へ歩兵三大隊ヲ以
 テ蓮花西方地區ヲ繞回シテ蓮花南方地區健部隊
 ニ策應セシメ主力ヲ以テ茶陵方向ニ突進シ山部
 隊ノ一部ト策應シ該方向ニ蝟集スル敵ヲ殲滅
 後本隊は孫ノ字備ヲ交代セシム
 健部隊ヲシテ蓮花及蓮花東方地區ニ繞回シ蓮
 花南方地區ニ在ル極部隊ノ一部ト密ニ策應シ
 テ蓮花方面ノ敵ヲ捕捉殲滅セシメ爾後懸
 市附近ヲ經テ酃縣ニ向ヒ作戦準備セシム
 山部隊ヲシテ來陽附近ニ進出後先ヅ東カニ
 有カナル一部ヲ酃縣又ハ衡州方面ニ派遣シハニ

語不明
ヲ準備セシム

497

2120

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

第二

日誌用

秘

七月五日 朝迄ニ於ケル状況

一 要旨

衡州攻略部隊ハ軍部隊トノ緊密ナル
協力ノ下 逐次敵ノ抵抗線ヲ破碎シ其
第一陣地線ヲ奪取セリ
敵ノ抵抗ハ稍々低下ノ模様アルモ

電報

七三、五天發
一一三〇着

次長宛

旭部隊

參謀長

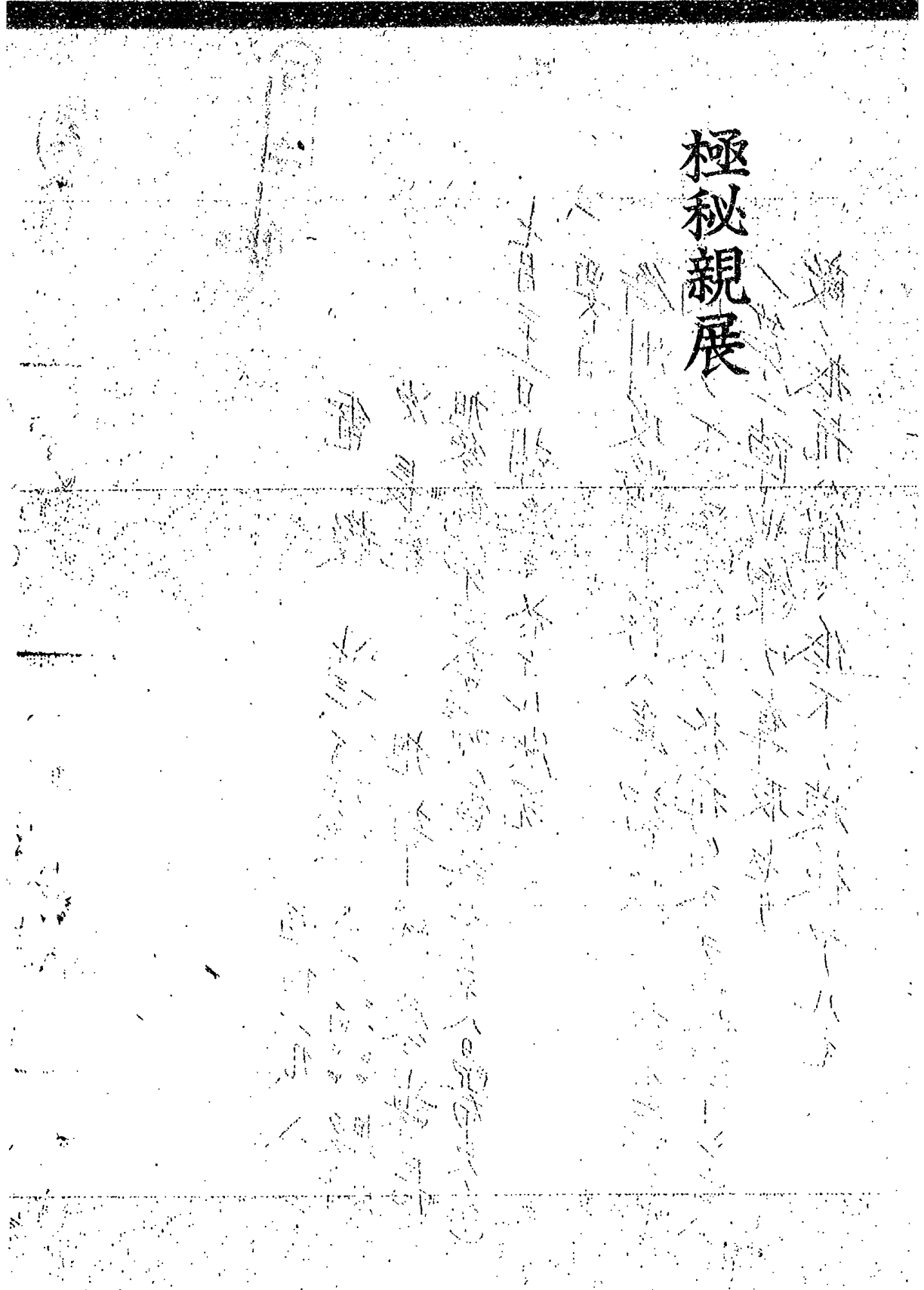
旭參電第四四號 (電話 七月十八日配布之介)

昭和一九、八、二

498 919

2121

極秘親展



1919

212301

日誌用

極秘至急

電

報

旭參覽第六七號
通電先、次長、支總(漢、南京)夜、旭

部參謀長

七月三十一日 朝迄ニ於ケル狀況

一 軍、衡州城攻撃準備ハ概テ順調ニ進捗中
オオサレ部隊

ハ三十日拂曉迄ニ衡州北側及西北側ニ進出シ攻撃ヲ準備中ナリ

鹿部隊、一部ハ二十九日二十時羅金橋(衡州南南西六料)ニ

進出シ同地北方ノ敵ヲ撃手摧セリ

二 江東方面

山部隊ハ昨日三十日官部隊及橋部隊ノ一部ヲ以テ安仁南方一料附近ノ敵第三七軍及第二軍ヲ攻撃

中ニテ戰鬪司令所ハ山中鋪(安仁東南方一〇料)ニ進出セリ
 (一) 鹿部隊萊陽附近守備ノ大坪部隊ハ二十八日夕來反攻
 中ナル暫編第二軍 第二六軍及第九二師 暫編第五
 四師等敗殘七箇師ヲ擊摧シツツアリ
 (二) 健盛極部隊ハ夫々戰鬪司令所ヲ以テ本三十日朝下
 界(萍鄉南一八料)ニ至リ白竺(西九料)附近ニ達シ
 所在ノ敵ヲ擊摧シツツ南下中ナリ
 同方面ノ敵ハ萍鄉一蓮花道以東ニ第五八軍
 以西ニ第七三軍アリ 我ガ南下ヲ阻止スルト共
 ニ再ビ萍鄉奪回ヲ企圖シアリ

終



日誌用

傍受電報

昭和一九、八、二

八一三二五發
八一五二五著
八一〇三〇受付
八一五二〇提出
八月二日八時三十分(電報班受付)

次長宛

旭部隊參謀長

旭放送第六六號 八月一日

我方占據狀況

- (1) 成部隊本一日朝小柴部隊ヲ以テ板橋(衡州西方一〇軒)附近ヲ確保、戸田部隊雞窩山正面大橋舖(西北方四軒)、堀内部隊八倉家テウ(大橋舖西四軒)一豆破(一語不明)(西西南方七軒)道ヲ東進中ナリ
- (2) 健部隊、極部隊第(二語不明)一二擊攘シ多大ノ損害ヲ與ヘツ

長ク（一語不明）健部隊第（二語不明）部隊ヲ以テ蓮花縣城ヲ占

領主力ヲ以テ富溪（蓮花北北西一二村）附近ヲ兩進中ナリ

(8) 本部隊ハ其ノ先頭梯團ヲ以テ本一日長沙ニ到着ノ豫定ナリ

ニ改狀

(1) 本朝五塘（新橋南五村）彈子山（西一八村）間ニ東進スルハ馬約

三〇〇〇ノ敵アリ

(2) 二十九日第一五七師長指揮スル挺進部隊（衡州西七村）第一五七

師ノ一部ハ（五語不明）衡州南南西一三村第一五一師ノ一部ハ洪

山南（衡州西南方一三村）ニ進出セルモノノ如シ

(3) 第四六軍（軍部ハ柳州ニアリ）ノ新編第一九師ハ第一〇〇軍トシ

指揮ニ入りシモノノ如クモ未ダ明カナラズ

（終）

503

2127



日誌用

極秘至急

電報

通電先 次長 支總(漢口 南京)

旭參電第七〇五號

二日朝迄ニ判明セル狀況

一 衡州方面

(1) 旭部隊長ハ衡州攻略ヲ直接指揮スル爲馬頭山(柳山河口北四軒)

ニ向ヒ進出中本二日朝衡州飛行場ニ到着セリ

(2) 岩部隊ハ三十一日朝當面ノ敵ヲ攻撃無誤部隊正面於テ若干進

出ス

(3) 廣部隊ハ西渡東方蒸水西岸ニ進出セル第七九重主力ヲ壓搾シツ

ク銅鑛波附近ニ向ヒ突進中キシテ三十一日小柴部隊ヲ以テ板橋

銅鑛渡西西北四軒(狹山沖(同一一語不明一北北西四軒)及

谷口附近)別ニ一部ヲ以テ兩母山、七星山及三塔(兩母山西

八三〇〇五〇發
二二二五著
八一四二五提出

旭部隊參謀長

昭和一九、八、四

北四杆) 附近ヲ確保セリ 爾後主力ヲ以テ銅錢渡東北方地區ニ

戸田部隊ヲ以テ東陽備附近ニ集結スル筈

(3) 衡州西北地區ノ敵情

(1) 第七四軍(新第五一師)ハ一日餘田橋(金蘭寺東東北一五杆)ニ

第五八師ハ新橋附近ニ進出セリ

(2) 第一九師ハ一日四塘(大邱西西南一五杆)及洪山廟附近ニ進出

セルモノノ如シ

ハ第七九軍ハ攻堅部署ヲ變更シ主力ヲ以テ望城坳ヲ一部ヲ以テ糧

本市集兵淮(西六杆)ノ攻堅ヲ企圖シアリ

(2) 第四六軍新編第一九師ハ第一〇〇軍ヲ指揮下ニ入りタルモノ

ノ如シ

ニ來陽、安仁、茶陵方面

(1) 鹿部隊大坪部隊ハ執拗ニ反攻スル敵ヲ退却シテ茶陵南方一帯

ノ邊ヲ確保シアリ

敵ノ一部ハ鹿部隊後方ニ滲入シタリ

極秘親展

(2) 山部隊ハ一日神部隊ヲ以テ來陽附近來江東岸主力ヲ以テ官橋(來陽東一九軒)附近 橋部隊ヲ以テ安仁南方ヲ來陽附近ニ向ヒ急

中、官部隊ハ安仁ヲ確保シアリ

(3) 茶陵南方ノ第二〇、四四軍ハ變化ナシ

萍鄉蓮花方面

(1) 健部隊ハ長縣蓮花南方ニ敵ヲ急追三十一日木佐木部隊ヲ以テ蓮花

縣城ヲ占領ナリ

(2) 樞部隊ハ敵ヲ追環中三十一日黎綸坪(萍鄉南二三軒)附近東西

險峻ニ據ル約一箇師ノ敵ヲ捕捉主力ヲ以テ柏樹坪(西南方一二軒)

方面ニ迂回攻撃中

同方面ノ敵第五八軍主力ハ醴陵南方ニ在リタル「四語不明」南下

ヲ阻止スルト共ニ再ビ萍鄉ノ奪回ヲ企圖セルモノナリ (終)

2

昭和一九.八.三

近衛元一 總長、副官 兵本長

今般夫々進級ノ恩命ニ浴ス

右ノ如ク申告ス

落合 大佐

小川 兵校大佐

中村 主計中佐

2131

録

極秘要

電報

通電先

次長、總參謀長
令所

旭參謀第七二二

八月三日朝迄ノ狀況

一 衡陽方面

(1) 衡陽攻略部隊ハ若々攻撃準備ヲ強化シツツアリ

(2) 湘郷ヨリ南下中ナル横井大隊(廣)ハ昨二日十九時岳市南南西

一八軒附近ニ於テ第六三師ノ一箇團ト遭遇シ之ヲ攻撃中ナリ

(3) 敵情

ハ第七九軍ハ一日第九八師ヲ以テ集兵附近ニ、第一九四師ヲ以

テ板橋王爺廟ニ進出セリ

ハロ
一四〇〇發
ハ四二二〇受付
一〇七四〇提出

昭和一九、八、五

旭部隊參謀長

(漢口、南京)、波集國、「二將不明」戰團司

四 第一〇〇軍 第一九師新橋第一九師ハ二日三塘附近ニ進出シ

雨母山方面ノ第六二軍ト協力銜陽ニ向フベク企図シアリ

ハ第七四軍ハ第四五及第五一師ヲ以テ餘田橋(金口寺京東北一六

軒)ニ第五八師ヲ以テ新橋附近ニ進出セリ

三 同方面ニ對スル敵機ノ出撃ハ更ニ活潑化シツツアリ

ニ江東地區

(1) 建部隊ハ本三日朝主力ヲ以テ蓮花ニ、一部ヲ以テ其ノ南方一

軒附近ニ進出セリ

敵第二〇軍及第四四軍ハ本縣、香縣中間山地帯ニ在リテ茶陵驛

同ノ機ヲ窺ヒツツアルモ其ノ行動活潑ナラス

(2) 軍ハ當分建部隊ヲ以テ蓮花ヲ、樞部隊ノ一部(歩兵第三大隊)

ヲ以テ南村(蓮花西北方一五軒)附近ヲ確保シ殘敵ヲ掃蕩スル

ト共ニ蟬集シ來ル敵ヲ索メテ擊滅シ且恩施ニ向フ如ク欺罔セシ

ムベク夫々部署セリ

皇軍

★兵站線方面

(1) 敵ハ各軍ヨク夫々九營程度ノ交通通信網破壊隊ヲ我ガ兵站線ニ
行動セシメアル外殘敵各地ニ蠢動シアリ

敵空軍ノ出撃モ亦逐次執拗化シツツアリ

(2) 軍ハ陸路交通線防空強化ノ爲開部隊ヲシテ新市、撈刀河、瀏陽
河各軍橋ニ夫々歩兵約一中隊ヲ配置セシメ又各兵團補充要員ヨ
リ工兵下士官以下五〇〇〇名ヲ里部隊長ノ指揮下ニ入ラシメ水
上輸送監視部隊ノ強化船舶輸送ノ警備力ヲ十分ナラシムベク處
置セリ

(終)

至急

軍機秘報

誌用

第二課

電報

昭和一九、八、五
八四二〇〇發
八、〇六三丑受付
八、〇四四〇著
一〇五〇提出

旭部隊參謀長

通電先 次長、支隊（漢口、南京）、波

旭參電第七二七號

八月四日朝迄ノ狀況

一 衡州方面

衡州攻路部隊ハ攻撃準備ヲ完了シ堤及岩部隊ハ本日夕攻撃開始ス

衡州攻路ノ爲現在迄ニ準備シ得タル彈藥ハ十五榴三門ニテ三三〇

發、十加三門ニテ四五〇發、山砲各門約一〇〇發、歩兵砲各門約

九〇發ヲシテ尙夫々若干ヲ急送中ナリ

二 茶陵、來陽方面

(1) 大井部隊一團ハ依然來陽南方要線ヲ確保シ執拗ニ反攻中ノ敵ヲ
掃蕩シツツアリ

(2) 山部隊ハ茶陵一安仁ノ間ノ獲取ヲ掃蕩シツツ前進シ敵機ノ妨害ヲ
排除シ少數ノ民船ニ依リ來河ヲ渡河中ニシテ本日朝戰鬪司令
及神部隊主力並ニ松部隊ノ一箇大隊ハ來陽北方地區ニ集結シ工兵
隊ハ竹格爾(來河東岸)神部隊及橋部隊ノ各一部ハ官橋(來陽東
一五軒)附近ニ進出セリ茶陵附近ヲ守備シアル松部隊主力ハ一日
夕刻來反攻中ノ第二〇軍主力ヲ(戦力ハ一箇師ナリ)ヲ撃退シツ
ツアリ

(終)

第三課

日誌用

極秘

傍受電線

八月五日七時(電報班受付)

昭和一九、八、五

通電先 次復(次官)

旭 部 隊 參 謀 長

旭放送第六九號 八月四日

一 我方軍ノ狀況

山部隊主力ハ敵ノ妨害ヲ排除シ且少數ノ民船ヲ以テ統籌來江ノ
 渡河ヲ急ギツツアリテ本四日朝辰司令部所ハ栗塘鋪、神部隊主
 カハ曹皮塘(來陽西方四杆)附近ニ集結ス
 橋部隊主力ハ官橋(來陽東一二杆)附近ヲ西進中、官部隊ハ後
 任ヲ確保シテリ

512

2137

茶陵守備ノ「一語」一部はハ一日夜以來執拗ニ反攻中ナル敵將
ニ〇耳主カヲ以テ瀕シツツアリ

敵情

(1) 衡州周邊ノ敵情大ナル變化ナク依然第^六三師ハ白山、法輪寺、
排冲（衡州北ニ〇紆）第^九八師ハ集兵灘、第^一六〇師ハ以下
四語不明「地」ニ第^一四九軍ハ蒸水南側三塘附近ニ、第^六二軍
ハ兩母山附近ニ在リ、本朝「一語不明」偵察ニ依レバ第^一九四
師ハ該地ヲ占領シアリ

(2) 「三語脱」五語不明「上埠附近ヨリ東南方ニ潰走シ」「二語不明」
三江口（瀘溪南ニ五紆）北方ニアリ

（混信大ナル爲末項ハ脱字及不明箇所多キモ諒承アリ度）

（秘）

513

2138

第一課

極秘

白話用

傍受留報

次長宛

號外

旭放送第七〇號

八月五日

「荷州」方面

昭和一九、八、六

八月六日一三三三(官報班受付)

八月六日一三三三(官報班受付)

旭 參 謀 長

- (1) 堤部隊ハ津部隊ノ密接ナル協力ノ下ニ昨四日十七時ヨリ攻撃ヲ開始シ堤部隊ヲ太田支隊ハ「一語不明」高地ヲ奪取セシモ敵ノ逆襲ヲ受ケ戦線ヲ整理スルト共ニ再攻ヲ準備中
- (2) 志摩支隊ハ「岳屏」南方草公路北側地區ニ進出セリ
- (3) 岩部隊ハ「杏花村」口側高地及「西禪寺」西方高地ノ一角ヲ奪取セリ
- (4) 成部隊主力ハ「胴鏡渡」一部ヲ以テ其ノ北方及「兩母山」附近ニ

在ル主力方面ニ於テ第七九章一箇四ラハ波シ引續キ攻中ナリ

(8) 第一〇〇章(新編第一九師、第一九師)ハ「三塘」附近第六二章

「第一五一師、一五七」ハ「兩母山」及其ノ東方地區へ進出シ解

圍攻ヲ督勵セラレツツアリ 又第七四章(第五一、五八師)ハ

第一〇〇章後方近クニ進出中ナルモノノ如シ

ニ「江東」方面

(1) 極部隊ニ日依然「白竺」南方「杏樹坪」附近ニ於テ第七二章主力

ヲ力攻中ナルモノノ如シ

(2) 「茶陵」南方ニアリシ第二〇章主力(第一三三師及新編第二〇師)

ハ「安仁」ニ向ヒ移動中ニシテ四日其部ハ「界首坪」(「安仁」

東方二〇軒)ニ進出セルモノノ如シ

(終)

秘親展

目録
用

秘
録

電

報

昭和一九八七
八六二一〇發
八六二五〇發
八六二九〇發
著者
八六二九〇發
提出

旭部隊參謀長

通電先 次長支總(漢口南京)彼

旭參電第七三九號

八月五日朝迄狀況

一 衡陽方面

一軍八集部隊ノ緊密ナル協力ヲ昨宵十七時堤岩
兩部隊ヲ以テ岳屏一帶ノ高地ニ對シ攻撃ヲ開始セリ
兩部隊ハ熾烈ナル敵ノ抵抗ヲ排撃シツツカ戰中ニシ
テ岩部隊正面ニ堤部隊ノ左正面ニ於テハ敵陣地ノ一部
ヲ奪取シ戰果ヲ擴張中ナリ 現在ニ於ケル其ノ第一線
ハ廻雁寺南方三〇〇(煙突高地)岳屏高地南端大西

門西面南八〇〇米(西禪寺高地西面及南面)ノ線ニ在リ

(2) 成部隊ハ各一部ヲ以テ銅錢渡北側地區及蕪水南側

竝ニ雨母山及衛陽附近ヲ確保シ主力ヲ以テ銅錢渡

附近ニ位置シ廣及鹿部隊各一部ト策應シ蠟集シ

來ル敵ヲ擊碎中三日頃第七九軍ノ一箇團ヲ銅錢渡

附近ニ於テ捕捉殲滅セリ

二 來陽方面

大坪部隊(鹿)ハ依然來陽南ノ要線ヲ確保シ執拗

ナル敵ノ反抗ヲ擊破シツツアリ

來陽北側ニ集結中ニ山部隊ハ逐次到着部隊ヲ以テ

大坪部隊ト協力シ當面ノ敵ヲ擊滅スハク昨日夜半

神部隊ヲ小水舖附近ノ敵左側北側ニ向ヒ急進セシ

ムルト共ニ戰鬥司令所ハ本日和平

蕪水南側

一三料)附近ニ進出入

三茶陵安仁方面

宮部隊ハ安仁ヲ松部隊(ヲ山)ハ茶陵ヲ確保反抗中

ノ敵ヲ撃碎中ニシテ茶陵附近ノ敵ハ第一九〇師ナルモノ

ノ如ク敵第二軍ハ安仁ニ向ヒツツアリテ四日其ノ軍部ハ

界首坪(安仁東東南ニ料)ニ在リ

四蓮花方面

(一)健部隊ハ蓮花周邊ヲ確保シアリ

(二)極部隊ハ三十一日以来白竺南方ノ峻嶺ニ據ル第七軍

主力ヲ攻撃中ニシテ本朝主力ヲ以テ分水坳(白竺南南

東九料)一部ヲ以テ鐵爐鑛(白竺西方一三料)ニ在リ

飛行機ノ偵察ニ依ルバ柏樹下(鐵爐鑛南八料)及

其ノ北方高地ニ自視五〇〇ノ敵陣地ヲ占領シアリ

(終)

無秘 作戰緊急

日誌用

電報

旭部 參謀長 漢口 南京 旭部 參謀長 漢口 南京 旭部 參謀長 漢口 南京

昭和一九、八、八

2144

通電先 大長 參謀長 漢口 南京

旭部 參謀長 第七六四號

八月七日十二時迄ノ狀況

一 衛州方面

(1) 衛州攻略部隊ハ軍部隊ノ協力ノ下ニ攻マラ履行シツツアリ
敵ノ抵抗モ亦頑強ヲ極メ各所ニ壯烈ナル爭奪戰ヲ惹起シツツ
我ハ一寸刻ミノ進出ヲ繼續シアリ

本七日十七時迄ニ於ケル其ノ進出狀況次ノ如シ

(1) 吳部隊ハ右翼隊ヲ以テ學校ノ高ヨリ(洞窟寺東南二〇〇米)ヲ
奪取シ左翼隊ヲ以テ岳屏高ヨリ中腹(頂上ノ建物ヨリ一五〇米
南)ニ進出セリ

519

(1) 岩部隊ハ天馬山及西禮寺高地ヲ奪取スルト共ニ右正南ノ一五
 〇米一高嶺(岳屏西北方三〇〇米)ヲ力攻中
 (2) 廣部隊ハ堀塘巷(小前門附近)ニ附政府前南方(小前門背草橋
 中)ニ及清草橋(西)一五〇米附近ニ進出シ結果湖嶺中
 (3) 鹿部隊及成部隊ハ各々前任務中ニシテ敵ハ鹿部隊ノ渡河
 攻ヲ警戒シ多量ノ兵力ヲ湘江兩岸ニ配置シアルモノ如シ
 二 江京地區
 (1) 山部隊ハ逐次到着スル兵力ヲ以テ大坪部隊ト協力來陽南方ノ
 敵ヲ掃蕩中
 安仁、茶陵方面變化ナシ
 (2) 建部隊ハ依然鶏花附近ニ在リ
 (3) 樞部隊ハ右追撃隊(一營大隊増援)ヲ以テ柏樹下附近ノ第七
 二軍ノ一部ヲ攻ムルト共ニ主力ヲ以テ南村附近ニ向ヒ前進中
 ナリ
 三 (1) 開部隊ハ概ネ所命ノ配備ヲ完了スルト共ニ岩切支隊ヲ以テ益
 陽附近ヲ掃蕩中
 (2) 本部隊ハ先頭ヲ以テ新市ヲ經過南進セリ

親展
 極秘

日誌用

傍受電報

八月八日 (電報班受付)

昭和一九、八、八

旭部隊 隊長

旭放送第七一號 八月六日

第一課

「我が部隊ノ状況

「衡州」攻略部隊ハ依然力攻中ナルモ昨五日大ナル進展ヲ見ズ
其ノ他各方面トモ新報ヲ得ズ

「敵情

(1) 第三七軍主力ハ七日頃「黃田舖」(「泉溪市」東東南二五軒)附近ヨリ「冠市街」(西南一二)ヲ經テ「茶溪」(西北一〇軒)附近ニ進出第六〇師ヲ併セ指揮シ「泉溪市」ト「茶溪」間ヨリ「來江」ヲ渡河シ「五馬蹄路」(東陽渡)附近ヲ攻撃スベク企圖シアリ

(2) 「岳坪」ハ昨五日第五八軍並ニ第七二軍ハ「隘路」ニ向ヒ出發スベク命令セルモノノ如シ

旭放送第七三號 八月七日

「衡州」方面

- (1) 詳細明カラザルモ空中偵察ニ依ル判明次ノ如シ
- (イ) 堤部隊右翼隊ヲ以テ「寺」高地南端ニアリ、左翼隊ハ「ガクテ」ウ「高地南端」小丘阜」(本道ヨリ北一五〇米)ヲ奪取セリ
- (ロ) 岩部隊黒嶺部隊ヲ以テ「エビ」高地(「岳坪」西北三〇〇米)針谷部隊ヲ以テ「カニ」高地(「岳坪」西北三〇〇米)兒玉部隊ヲ以テ「西禪寺」高地(西二〇〇米)ヲ完全ニ占領セリ
- (ハ) 廣部隊方面ニ戰況ハ進展セザルモノノ如シ
- (2) 成部隊主力廣、鹿兩部隊ノ一部ハ夫々「衡州」周邊ニ蟻集スル敵ヲ擊退シツツアリ
- 「衡州」附近ノ敵情大ナル變化ナキモ第七九軍ハ第六成區ニ殘留セシ暫編第六師ヲ八月初旬「寺泉冲」附近出發(地名補遺不明)

2147

522

ニ向フベク招致シアリ

ニ「來陽」「安仁」「茶陵」方面

(1) 山部隊主力本朝來大坪部隊ト協力シテ敵ヲ攻撃スル筈

(2) 「安仁」「茶陵」方面大ナル變化ナク「茶陵」ニ反撃中ノ敵ハ第

一五〇師ニシテ若干後退セルト共ニ第一六一師ハ五日「西抗」

「茶陵」東南三五軒ニアリ

第七三軍ニ米國製火炮放射器(尙檢討ヲ要ス)三六ヲ交付スルモ

ノ如シ

(終)

日誌用

第一課

海軍機親展

電報

通電先 次長、關係各所

加参通電第七七〇號

專八第部以下、湯力ノ下八月八日八時、衛隊以テ完全ニ取略セリ、
 第一〇軍長方先揚、軍參謀長、第三師長、第一九〇師長、豫備第一
 〇師長、瀨瀨第五四師長悉ク降伏セリ

第八一五〇號
 第一〇軍長
 第一九〇師長
 豫備第一師長
 瀨瀨第五四師長
 軍參謀長
 第三師長
 第一〇軍長
 第一〇軍司令部

昭和一九、八、八

○十隻ノ船舶進水ト宣儀

(桑港。二月十九日十六時)

米各地造船所ニ於テ新三算物船十隻、内七隻ハ、リバネリ型
カ進水シタ

○グザリンズレイド中將返リ咲キ (桑港。二月十九日十六時)

。昨年ノ一月米第十二海軍區司令官ヲ退イタグザリンズレイド
下海軍中將ハ此ノ辰太平洋岸三海軍區海軍、調整官ニ任命
サレタ

2150

第... 極秘至急

日誌用

電報

八七〇七五發
五五九著

昭和一九八八
八七〇七五發
五五九著

通電先次長、總參謀長（漢口、南京）

波

旭參電第七五號

八月六日朝迄ノ状況

一、衡陽方面

(1) 軍、堤岩、黒部隊ヲ以テ岳屏ニ戦力ヲ集中シ攻撃ヲ續行スル。共ニ廣部隊ヲ以テ衡陽城西北及北側地區ヨリ攻撃ヲ開始セリ。
(2) 堤部隊ノ攻撃ハ成功スルニ至ラス。戦線ノ整理ニ再攻ヲ準備中

- (3) 岩部隊ハ黒瀬部隊ヲ以テ岳屏西北三〇
 米ノ高地(「エビ」) 針谷部隊ヲ以テ天馬
 山高地(「エビ」西西北三〇〇米「カシ」)ノ各々一角
 ヲ兒玉部隊ヲ以テ西禪寺ノ高地(「カシ」
 西方三〇〇米)ヲ奪取シ戦果擴張中
- (4) 廣部隊ハ本六日三時 主力ヲ以テ衡州城西
 北地區ヨリ 一部ヲ以テ北側地區ヨリ攻撃
 ヲ開始シ小西門附近ノ城内ノ一角及城内
 北端附近ノ敵陣地ヲ奪取シ敵ノ増援部
 隊ト激戦中ナリ
- (5) 鹿部隊ハ渡河攻撃ヲ停止シ湘江東岸ニ
 於テ敵ヲ牽制セシメアリ
- (6) 成部隊ハ三日以降 主力ヲ以テニ塘附近ノ

第一〇軍ヲ執撃スルト共ニ小柴部隊ヲ以テ
 城口壘北側ノ第七九軍ヲ攻撃シツツアリ
 (7) 田畑大隊(鹿)ハ四日以降東陽鋪東ヲ進
 出セル第六三軍挺進部隊ヲ撃摧シツツ
 アリ
 (8) 敵ハ第七九軍暫細ニ六師(慈利附近
 ニ在リ)ヲ竄擾ニ招致スルト共ニ第三七
 軍主力ハ我が鹿部隊ヲ面ニ前進セシム
 ベク部署ニアリ
 二 來陽 安仁 茶陵 方面
 (1) 大坪部隊(鹿)ハ約二週間ニ亘リ來陽附
 近ヲ確保ニ致シ七箇師ノ敵ニ攻撃ヲ
 破壊シツツアリ 其ノ一角據點ハ一小隊ヲ

八陣藥盡キ至碎セリ
 (2) 山部隊ハ神部隊ヲ以テ小水鋪ニ達シ大坪
 部隊ト連絡成リ明トヨ早朝ヨリ相協力
 シテ敵ヲ殲滅スベク準備中
 橋部隊ハ吾日夜以來來江ヲ渡河追及
 中
 又步兵ニ箇中隊ヲ以テ來陽及其ノ
 西才ニ進出セシ敵ヲ攻撃中ナリ
 宮部隊ハ安仁ヲ松部隊ハ茶陵ヲ確
 保シアリ
 茶陵附近ノ敵第四四軍ノ反攻ハ執拗十
 七毛ノ如シ
 華郷蓮花方面

親展
 總務

至急秘報

於テ敗退四散セル第五八七ニ

第六九九師ハ逐次能執力ヲ

奪回ヲ企圖シアルモノハ如シ

我が本部隊ノ前進ハ著シク遲延シ醴陵

附近ノ進出完了ハ八月中旬ト豫想セラル

(2) 軍ハ殘敵ヲ掃蕩シ醴陵及茶陵並ニ安

仁間ノ要域ヲ確保スル為メ如ク部署

セリ

(1) 極部隊ハ速カニ茶陵及修縣方面ニ前進

シ山部隊ヲ交代推進スルト共ニ醴陵占

領部隊ヲシテ嚴ニ該地ヲ確保セシム

(10) 建部隊ハ速カニ蓮花附近ヲ出發界首坪

(安仁東南ヨリ新) 附近ニ前進シ一部

(甲) 歩兵大隊ヲ安仁ニ先遣シ該地守
 備ノ山部隊ノ一部ヲ推進ス
 (乙) 臣部隊ハ歩兵箇大隊基幹ノ部隊
 ヲ醴陵ニ急進セシメ該地守備部隊ニ
 協力ス
 (丙) 本部隊ハ速カニ醴陵ニ向テ前進ス